

令和5年12月7日開催 白石地区地域づくり熟練世代会議 感想まとめ

No.	Q1 若者会議（10-20代）の結果を聞いての感想	Q2 次世代会議（30-50代）の結果を聞いての感想	Q3 次世代にバトンを渡すために、白石地区で力を入れていくべきだと思うこと	感想
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の活動の中で参加者としてみている</li> <li>これからは一緒に企画段階からやってみよう</li> <li>こちらから声がけするのに遠慮してしまう</li> <li>子供や孫の代、普段から声がけしない</li> <li>よい子ばかり集まったの意見ではないの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分もそうだった。仕事をしていると自治会活動へは手が回らない。時間が取れる人がやった方がよいと考えた</li> <li>そんなに関心を持っている人がいると驚いた。もっともっと声がけしていけばよい</li> <li>活動に対して声がけするのは迷惑になるかと思っていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣近所の人にもよく分からない中で、どのように活動していくか。繋いでいくか</li> <li>参加はするが役員となるとなり手がいない</li> <li>自治会でも世代別でとり組む行事などを取り入れて、ローテーションでやっていく</li> <li>顔見知りになる機会を多く作る事が大切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回初めての出席でした</li> <li>コミュニティ協議会とは従来の自治会でしっかりとしつつ、自治会が手薄になる部分をカバー</li> <li>自治会の人手不足などで活動ができなくなっている部分をカバーしてくれるものかなと判断しましたが</li> </ul>
2	10代～20代の事業活動の場が少ない	自分から参加することが少ない（親の参加が多い）		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミステーションの設置や管理をしているのは、50%が白石市だと思っていることが驚いた</li> <li>自分でも何か地域や自治活動に役立つことができる、と思わせることが大事</li> <li>同世代での付き合いがなくなっていると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きっかけがあれば地域活動に参加すると思う</li> <li>PTA活動に参加している方々を参加呼びかけしては？</li> <li>活動が負担と考えるよりも楽しく感じる内容が大事だと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での文化活動（祭り、運動家）などの住民が参加できるきっかけをなくさないでほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて参加したが、本日は熟練世代会議ということもあり、後継者に苦勞していることが分かった。</li> <li>スマホ時代になりコミュニケーションのツールで若い世代は年寄りから話を聞くことがなくなっているのではないか</li> </ul>
4	若者が参加しやすい開催方法になっていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間や精神的な余裕がない</li> <li>大変さ、負担ばかりが伝わってきて、やりがいや達成感が感じられない</li> </ul>		参加者同士の意見、参考になりました
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接10代、20代の若者と話す機会がなく何を考えているのかわからない</li> <li>現状では若者向けの事業は自治会としてはやっていない（反省！）。最近、子ども会中心のイベントが計画され、実行に向けて協議している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員の考え方とだいぶ違っているし、話し合う機会もないし、あっても少ない</li> <li>結果、わからない</li> </ul>	自治会の現状としては、中高年が役員になっている若者の参画を考えなければ！	新潟始め、本日の参加者から貴重な事例や悩みを聞いて、今後私たちの自治会活動に活かすことにしたい 組織の若返りも考えてゆきたい
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心があるなら受け身ではだめ！</li> <li>情報は探せばよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘われなくても出て来い！</li> <li>まずは参加すること</li> </ul>	学校行事に自治会活動を取り入れること！	グループごとの話し合いで、他のグループの話し声が入って、グループ内の人の声が聞きづらかった
7	付き合い参加の割合が高いのは意外であった	付き合いを大事にしたいというのを大切にしたい	参加するきっかけをいかにつくるか、情報を伝達するか	自治会により事情が異なるということを改めて痛感したこれをいかにしてまとめ、コミ協を成立させるか。先に素案があったら良いと思う
8	イベントに参加している子どもたちの意見をよく聞く	子ども会の役員が終わると出席しなくなる		今後の地域の行事に役立てる
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者に対する自治会からの情報提供が本当に少なかったと思う</li> <li>もっと投げやりな意見を言うのかと思ったが、指導年代への大事な意見を言っていると思い、今後の白石への期待感が受けられた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>30～50代としては、参加したくないのではなく、参加する方法が合わないと思った</li> <li>もっと参加しやすい行事を提示する必要性を感じた</li> </ul>	大事なことは情報提供と年代別の行事を考えるべき	自治会内での情報交換のためには、役員会としてのラインを公に知らせて、いつでも自治会内の10代～20代～30代が見ることが出来る状況を作ることが参加のきっかけとなるのです
10	積極的にやりたがっている人が多かった	きっかけがあれば前向きに考えている人が多い	各世代ごとに話し合いの場所をもっと増やすこと	子どもも含めた若い世代をもっと集めて話し合いができるようにしたい

No.	Q1 若者会議（10-20代）の結果を聞いての感想	Q2 次世代会議（30-50代）の結果を聞いての感想	Q3 次世代にバトンを渡すために、白石地区で力を入れていくべきだと思うこと	感想
11	若者が参加したい地域活動や行事を考えると、若者の意見や考えを聞くことが必要だと思った。その手順が時間的にも労力的にも大変だと思った。	次世代の人たちが、自治会などの地域活動に関心をもつときは、子どもとの関わりがきっかけになると思う。また、地域の人たちとの付き合いを大切にしたい、という気持ちから参加するというのも納得である。	①自治会に大きな負担をかけないで、必要なことに絞って活動するようにする（役員の高齢化、地区の高齢化など） ②まちづくり協議会などがイベントを企画していただきたい	①自治会の現状は厳しいものがあり、多くは期待できない。 ②その中で何とか次世代、若者世代に一つでもいいものを引き継いでいきたい
12	高齢主体が自治会（中心）となっていた（反省） 地域住民は（年少者は少ないが）各世代がいるのです。若者も一員です	働いている世代は自治会活動にかかわることは無理と考えていた感が強い。 地域活動は各世代で協力しあわなければ…	（白石）地区の将来について話し合う会を作る いろいろなテーマ（課題点）を話し合おう「場づくり」 →まちづくり	自治会は年少～高齢、すべての人の集まりであることに気づきました。 連携が大事（ほかの地区とも）
13	・積極的な若者をどのようにして見つけ出すか ・若者の人数がとても少ないが…	仕事が忙しいのか、子どもの参加が終わると顔を見せない	参加したくなる活動、イベントはどんなものなのか	・若い世代の考えが知れてよかった。 ・他地区の状況も聞いて参考になった
14	人口が少ない 限界集落			各自治会のご意見も聞いて非常に参考になりました。 農村集落と町場の相違（ちがい）
15	これに関しては、市がしていると思っている若者が多いと思っている年配が多い	若い人達に声掛けして、誘い込むこと（どんなことをするのか）	年代にかかわらず、誘い合って、人の意見を聞いたりして、そこに溶け込むことが大事	・それぞれ地区の悩み事、取り組みを聞かせていただき参考になった。 ・どこの地区でも高齢者が多くなり、若い人たちは仕事が忙しい。このつながりをどうするか問題になっている様子
16	20代の方の地域活動が低調な理由がうかがえた（地域のイベント、行事を知らない）	地域活動への働きかけがあれば参加しやすいことが分かった	・世代間交流ができるような環境づくり ・地区活動へ関心をもってもらえるような情報発信の工夫（年間行事カレンダーの配布） ・自治会と他団体との交流 ・家族で地域活動に参考しやすい環境づくり	・多くの参加の方との意見交換ができてよかった ・特に若い人に参加してもらうには「きっかけ」を作っていくことが必要という意見が多く出た ・若者会議で思った以上に「まちづくり」に関心をもっている人が多くいたことにびっくりという意見が多かった
17	若者が関心ないのは仕事が多忙な結果でしょうか	時間的余裕がないから参加できないようだが、参加しやすい環境づくりが大切です	地域全体が交流し、コミュニケーションづくりが大切と考えています	大変有意義な案や、実態を知りました。この意見が行政に届き、実行されたらいい町づくりになると期待しております。若者も老人も幸せに暮らせることを祈るばかりです。
18	地域活動と学校のスケジュール（中学校）	見つけようとするが、「忙しい」の一言！ 2-8-2原則	・バトンを渡そうとするが退職年齢が上がっている（運動会、地域行事） ・次世代にバトンを渡す、白石地区で力を入れていくべき？	各地区の方々の問題は一緒のようで、今後、私の地域活動を活かしていきたい 新たなコミュニティを築き上げたい
19	学校中心	やる気のある人がいる	情報発信	議論の核をもっと具体的にしないとジジ放談になってしまった。焦点を上げての話し合いをしたほうがよかった。

No.	Q1 若者会議（10-20代）の結果を聞いての感想	Q2 次世代会議（30-50代）の結果を聞いての感想	Q3 次世代にバトンを渡すために、白石地区で力を入れていくべきだと思うこと	感想
20	・生まれ育った地元、白石が好きな若者が思った以上に多いことに気づいた。そんな若者を動かす何らかの起爆剤があったら地域の若者の考え、行動が変化するように思える。	・同年代の方が集まる機会を欲しがっている。 ・子育て、悩み、夢などを話し合う場、共感、共同意識は大切だとは感じているようです。 ・不安（人間関係）	若い人を引き込むには？ ・時間がない、忙しい ・目的の精査 ・役員のなりて不足 ・自治会組織のピラミッド ・班を通しての輪づくり	本日は出席者の熱い気持ちを聞くことができましたが、いまいち、何を目標に話を造っていくのか、何を指したいのかがよくわからなかった。
21	・情報発信と場所（コミュニケーション）の場が必要 ・参加したい人を取り込む必要性 ・アイデア、参画しやすさを検討する	・きっかけ作りの重要性 ・扇をどのように作ってイけるか？ ・コミュニケーションが大事だと思っている人がいる	若い世代・次世代の人の取り込みかた 会話の場、総じてコミュニケーションの重要性が大事だと思う	・青年会の役員（柳町） ・1回目の討論では主旨が伝わっていたが、2回目は説明が理解できず、烏合の衆であった。残念
22	①現在の自治会での活動内容、目的を広く紹介すれば、一定数理解してくれる人たちがいることが分かった ②いろいろ告知、発表をやることで光は見えるか？	地域でコミュニケーションをとる行事がチャンス。協力できる人たちを巻き込みたい	コミュニケーションの機会をつくる、増やす	・会合行事には、どの地区も若い人の参加が少ないのは、共通問題のようであった。 ・助成金を利用して若い人の組織をつくらなければ…
23	1.やはり若者にどうしたら興味を持ってやってくれるかをまず話し合う 2.大人と一緒に活動する 3.やはり楽しまなければ地域活動は長続きしない	1.仕事中心なので、地域活動は難しいところがある 2.地域活動となると休日しかできないと思うので、難しいところがある	1.誰かがリーダーになり、教えていくしかない（個々に） 2. 共同で作業を行う 3. 青年会等を復活させる 4. 活動資金	特に思いは感じなかった。自治会をうまく運営するのは難しい。
24	・地域や自治会の状況を理解していなくても、理解しようとする前向きな発言が多いと思った。 （・若者に対して好感を持てる！ ◎若者の声か!! ・初めに問題提起してほしかった）	・話をすれば地域活動に対する理解はしてもらえ世代。その「きっかけ」がないだけ。 ・地域づくりの担い手になりうる世代。 （どの世代も話し合いが必要と思っている）	若者や次世代の開拓！（役員のなりて不足なので…） →区長制と自治会制の違いか！！ やり方が下手！自分中心ではだめ！ ・どうやって取り込むか！ ・バトンタッチは1番大変！ ・若者の参加どうしていくか！ ・地域によって若者の数が違う。若者いない!! ・自治会組織そのものが衰退してきている ・民生委員も大変!!	・自治会活動のグチが（最後は）多くなった ・現在の自治会活動だけでは行き詰まりが来る。地区単位でのまとまった組織があったほうが良い、そういう声が多かった。
25	・高齢者世帯が多く若者が少ない ・若者参加の行事等が組めない	会員参加の行事（事業）が企画できない	若者の参加できる活動等を…	世代別会議に参加したかった（10代～20代） 若者の意見も知りたかった
26	・自分の父親との意見、話し合いを通じての意見では？ ・周辺に同世代がいなため、思い付きの意見では？	・情報は発信しているが、参加しない ・仕事を中心に地域活動まで手が廻らない	世代別会議を定期的に行い、集約意見を持ち寄って会議を行う	意見交換は自治会が抱えているグチに終わったような気がするが、ためになった意見もあった
27	情報の発信方法を変える			

No.	Q1 若者会議（10-20代）の結果を聞いての感想	Q2 次世代会議（30-50代）の結果を聞いての感想	Q3 次世代にバトンを渡すために、白石地区で力を入れていくべきだと思うこと	感想
28	関心がない、付き合い参加…いつの時も同じ、時間的余裕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心はある</li> <li>・参加人数も多い</li> <li>・不参加も多い</li> <li>・人との付き合い大事にしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない人との活動は不安</li> <li>・大変、負担感</li> <li>・余裕がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さん積極的に発信されている。</li> <li>・前向きな発言が多かった</li> </ul>
29	若い人との接点が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きっかけがない</li> <li>・誘っても断る人もいる</li> </ul>	バトンを渡す人材がない	地域づくりは必要だと思うが、話の内容はわかりました。
30	現在、我が自治会でも人が少ないのでなかなか難しいと思う			今回参加してみているいろんな意見を言い交わしてとてもよかった。 地区町内のことを、今日参加した人はいろいろ考えていると感心しました。有意義でした。
31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように広報したらよいか？</li> <li>・10代～20代の組織があれば良い？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会が大きく、地域活動への参加の声掛けが…</li> <li>・希望に合った地域活動を考えないと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく住民になる人が多い地域でのコミュニケーションの取りやすい地域づくり</li> <li>・高齢者等の孤立の防止等</li> </ul>	10代～50代の意見を聞き、自治会でも検討しなければ、と思いました。地域の若い人と意見交換をしてみたいと思う。
32	<ul style="list-style-type: none"> <li>①意外に意欲があることに驚いた</li> <li>②会議に集まったメンバーがよかったのでは？</li> <li>③情報が伝わらないのは発信者の原因か？また、自ら受けとらない若者の原因か？</li> <li>④素直な態度と、へそ曲がりの態度が混在しているようだ</li> <li>⑤若者にあった（興味のある）行事で本当に参加するか疑問である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①やや大人の考え方になっているが、自分のことと考えていない</li> <li>②大変さ、負担感ばかり伝わってくる、これは確かである</li> <li>③自分の仕事、家のことが中心で活動に参加できていない。本当に参加してくれるのだろうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各世代の参加の活動でありたい</li> <li>②負担が少なく、達成感のある活動でありたい</li> <li>③積極的な声掛け</li> </ul>	話し合いは有意義であった。これらの結果が良い方向に活かされるとよい。いずれも同様の問題を抱えていると分かり、良かった。
33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信不足</li> <li>・参加しやすい工夫</li> <li>・世代ごとのイベントを考える</li> </ul>	働きざかりで、仕事が忙しくて参加の誘いを躊躇しがち	家庭、学校、地域で自治会について学習の機会が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いかに若者の参加を促すか</li> <li>・20代、60代が3～4人しかいないため、今後の自治会運営に不安</li> <li>・女性を役員に登用すべき</li> </ul>